

カジアド郡におけるコミュニティを基盤にした持続可能な初等教育戦略のための能力開発プロジェクト
事業終了時の様子



【学力調査の様子】

対象 30 校で算数、英語、スワヒリ語の学力調査を実施し、7 月までに採点が終了した。7 月に実施したガバナンス・リーダーシップ研修及び低学年教員研修において、対象校と分析結果の情報を共有した。



【ガバナンス・リーダーシップ研修の様子】

ガバナンス・リーダーシップに関する研修を実施し、30 校の校長、地方行政官、学校運営委員計 89 名が参加した。参加者は、他国での参加型学校運営の事例、学校運営計画作成手法等について学び、ワークショップを通じて学校運営計画作成を体験した。



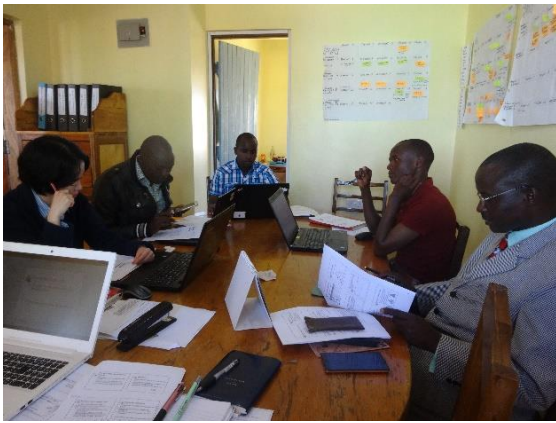
【低学年教員研修の様子】

対象 30 校から 2 名ずつの低学年担当教員を対象に、算数及び言語教育についての研修を実施した。算数指導法では、生徒が数の概念をわかりやすく習得できる教材が紹介された。



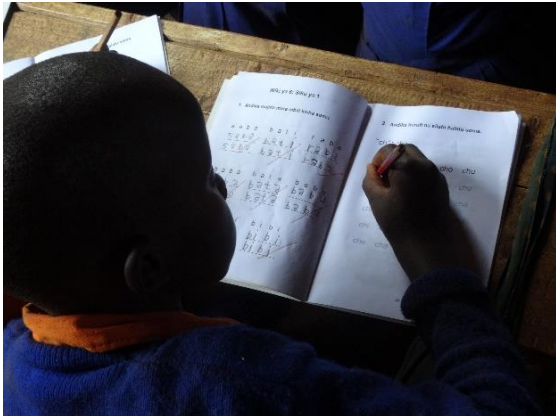
【コミュニティ会合の様子】

研修の実施後、各対象校における学校運営計画の作成、不就学児童のリストの作成について、コミュニティの人々に共有するための会議を行った。



【統計研修の様子】

統計用機材及びソフトウェアを整備し、プロジェクトスタッフ対象に統計研修を実施した。全スタッフは、コミュニティと共有するための教育統計及び分析に必要な基礎的な技術を習得した。



【補習教室の様子】

2018 年の 1 学期より、算数及びスワヒリ語の補習教室を実施した。1 学期の最後の補習教室で実施したテスト結果は、最初の補習教室で実施したテストに比べ、生徒の理解度が向上した結果が得られた。



【リソースルーム設置のニーズに関する調査】

教育省の Special Needs Education 担当官との協力の下、障害児に配慮した教育を積極的に行っている学校の調査を行った。調査の結果、2 年次のリソースルームの建設地は聴覚障害児を対象にした学級をもつ Enki jape 校及び知的障害児を対象にした Illasit 校を対象都することに決まった。



【コミュニティのための識字教室の実施】

保護者が児童の学習を支援することの重要性を認識し、家庭学習を促進するため、保護者向けに啓発ポスターを作成し、全校において教室を開催して児童の学習への支援に関する意識を啓発した。